

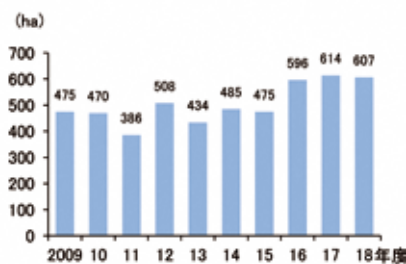
step 2

御前崎市の環境は、いま、どうなっているの？

私たちの住むまちが現在、どのような状況にあるかを知り、環境保護について考えてみましょう。

農地の減少と遊休農地の増加

農業従事者の高齢化や後継者不足によって、農地が減少するとともに、遊休農地が増加しています。



絶滅の可能性のある生物の分布

アカウミガメなど絶滅の可能性のある生物として144種が確認されています。



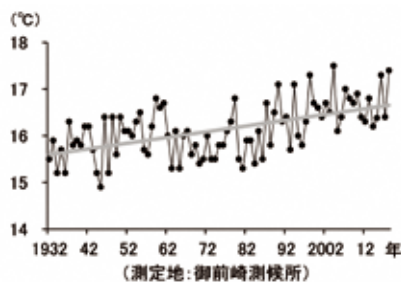
外来種の侵入

オオキンケイギクやオオクチバスなどの特定外来生物のほか、多くの外来種が確認されています。



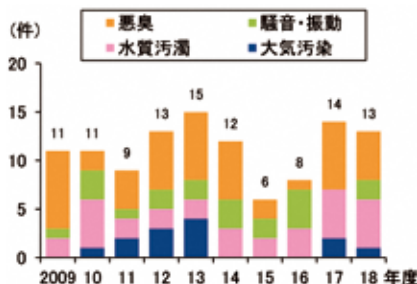
年平均気温が上昇

御前崎測候所では、年平均気温が上昇傾向にあり、地球温暖化による影響が懸念されています。



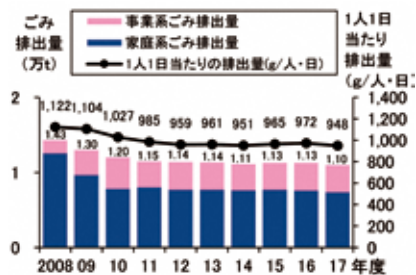
悪臭や水質への苦情

悪臭や水質汚濁、騒音・振動などの苦情が多くなっています。



横ばいで推移するごみ発生量

1人当たりの1日のごみ排出量は、県平均(878g/人・日)より多くなっています。



自然とのふれあいの場の存在

マリンスポーツや自然観察など、自然とのふれあいの場が数多く存在します。



普及が進む再生可能エネルギー

「御前崎市エネルギービジョン」を策定し、公共施設への太陽光発電の設置を進めています。



山林や海岸にみられる不法投棄

市内では、主に山林や海岸、ごみ集積所などに不法投棄が目立ちます。

